

# テーマ「徳田譲甫翁顕彰碑」

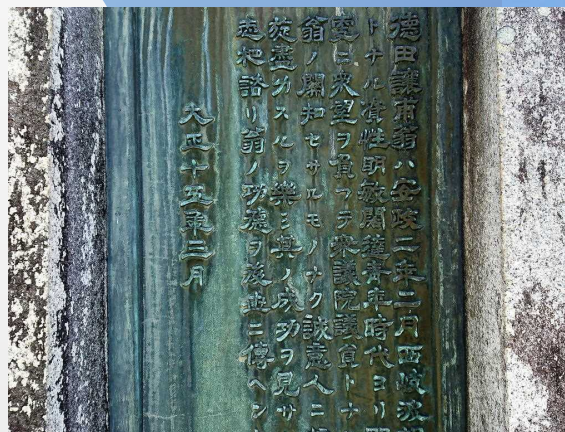
ジャンル：歴史的史跡

明治22年、当時、井関村村会議員であった徳田譲甫（じょうすけ）が総代となり、村の米作りの軸であった万年池水系の水不足を解消しようと江畑溜池を新築しました。12月に一度完成しましたが、翌年、豪雨で決壊しました。それでも徳田は、江畑溜池の再建の夢を捨てませんでした。明治24年、村長に就任するやいなや、江畑溜池再建計画を打ち出しました。そして、2年間かけて日本最古の灌漑用コンクリート造重力式ダムが完成しました。

昭和6年11月、江畑溜池の水が大地を潤したその秋、76歳の徳田翁は他界しました。用水路も作ったので、畑や荒れ地が田に作りかえられ、米がたくさんとれるようになりました。

堰堤の美しさを愛でるのもよし。農業水利や土木技術を学ぶのもよし。築造に奔走した人物の生き様を知るならば、個人と地域とのかかわりや、苦境を乗り越える精神なども感じる事ができるでしょう。

人の熱意が込められた江畑溜池堰堤。ぜひ見に行ってください。



裏面に彫られていた文字の一部



正面からの写真



旦地区にある顕彰碑